




DELHI


BEIJING


TOKYO


SHANGHAI


GUANGZHOU


BANGKOK


HO CHI MINH


SINGAPORE

What's on today?



What's on today?

-Monthly News Letter-

- January-February 2012 No.28-29 -

日中国交正常化40周年記念行事『元気な日本展示会 in 北京』現場レポート

日中40周年

元気な日本展示会 とは・・・

2012年、日中両国は国交正常化40周年を迎えました。両国はこの一年を「日中国民交流友好年～新たな出会い、心の絆～」として、日中両国国民の交流拡大、相互理解の増進を目的とした官民挙げての記念行事です。

日中40周年

概要

主催	外務省(在中国日本大使館)		
開幕式	2012年2月16日	16:00～18:00	
展示会	2012年2月17日～19日	12:00～20:00	
会場	北京 国貿展庁		
後援	中国国際貿易促進委員会		
協力	日本貿易信振興機構(JETRO)、日本政府観光局(JNTO)		
URL	http://www.huoli-japan.cn/j/index.html		

日中40周年

内容

- 伝統芸能から最新J-POP、アニメソングステージなどが展開される「Cool JAPAN Stage」
- 日本の先進技術や魅力あるコンテンツを紹介する「JETRO・日本企業展示ゾーン」
- 両国首脳のメッセージと国交正常化40年の歩みをパネルで振り返る「日中国交正常化40周年歩みパネル展示」
- 今人気の、日本全国の観光地・景勝地の魅力を紹介する「Visit JAPANブース」
- 本格的な日本の味を体験していただく「日本食の試食ゾーン」と「茶の湯の体験ステージ」
- 震災から復旧・復興する日本の今の元気な姿を紹介する「震災復興パネル展示」
- 被災した東北3県を中心に日本の各地の魅力を紹介する「都道府県の展示ゾーン」

Stage レポート



【1】 ジャパンファッションステージ：人気ヘアスタイリストのNOBU氏によるヘアアレンジショー。モデルを起用したステージと一般来場者に体験させるステージの2パターンで構成。【2】【3】 食のステージ（餅つき/まぐろ解体ショー）：日本の食文化の紹介をパフォーマンス形式で紹介。ステージ終了後には観覧者を対象につきたてのお餅や解体したまぐろの試食もしていただいた。

【4】 神戸コレクションステージ：日本最大級のファッションイベントの特別バージョンをステージで実施。日本人と中国人のモデルを起用し、日本のファッションをウォーキングやトークショーで紹介。

【5】AKB48ステージ：デイリースペシャルステージとして事前応募制のライブステージを実施。2/17と2/18はAKB48、2/19はalanが出演。ライブとトークショーに加え、当選者の全員が参加できる握手会(alanはハイタッチ会)を取り入れた1時間のステージを実施。

入場状況 レポート



【1】 安全検査:会場への入場口には金属探知機とX線検査機を設置し、すべての来場者を対象に安全検査を実施。

【2】 デイリースペシャルステージ待機列:事前応募の当選者のみが入場可能なデイリースペシャルステージの待機列。

不正防止のため当選メールと居住身分証をチェックし本人確認後、指定席券を引き渡し。

【3】 予想を上回る人数の来場者が訪れたため、入場規制を実施。最大で屋外の待機列に500人程度が並んで入場待ちをしていた。

展示関連 レポート

【4】 S-VIP内覧:開幕後に実施された日中の代表による内覧会。日本語用と中国語用のバナガイドを使用し、ツアー式で内覧。【5】 企業展示エリア:日本の製品を興味深げに見学する来場者。一番人気だったのは電気自動車。【6】 都道府県展示エリア:被災三県を中心に様々な県の名産品を展示。一番人気の都道府県は北海道。日本人からも人気高い地域が中国人からの人気が高いようであった。【7】 Visit Japanエリア:記念撮影スポットとして富士山の大きなビジュアルを設置。左の白い壁には47都道府県のパンフレットが収まるアクリルケースがあるが、すべてのパンフレットの在庫がなくなる反響で全て空になっている。この写真は日本の財務大臣が視察に来場したときの様子。【8】 震災復興パネルおよび周辺エリア:会場内は多数の来場者で混雑した状況が続いた。【9】 来場者アンケート:日本では回収が難しいアンケートだが、参加者を対象にしたノベルティが人気となり、目標(1000枚/3日間)を大きく超える1600枚の回収ができた。



試食関連 レポート



【10】 日本食試食コーナー:在中の日本食レストランが参加し、寿司や刺身、茶碗蒸しなどの日本食を提供。特に寿司は中国人の間でも大人気であった。【11】 茶室エリア:北京在住の裏千家の方々に参加いただき、茶道の説明やパフォーマンスと来場者への呈茶サービスを実施。中国の方々の茶道への関心の高さが垣間見れた。【12】 試食用整理券配布所:日本食試食は整理券制で試食数を管理。当初の計画では1日3300食の配布を予定していたが、公安や衛生局の指導により現場で試食数を調整。常に整理券の配布エリアには長い待機列が出来ていた。



瀬戸啓義独立記念レポート『 T-LIVEと瀬戸の歩み 』

T-LIVEに入社し10年の瀬戸。けん引役として歩んだ瀬戸の軌跡を振り返りつつ、今後の活躍に期待したい。

2000 T-LIVE設立

根本・平野・佐藤の3名で有限会社ティーライブを設立。2000年の沖縄サミットの案件に根本が瀬戸を誘い、大きなイベントとともに成し遂げたことをきっかけに、T-LIVEと瀬戸の関係が深まる。沖縄の首里城の展示室にはいまだに2人の痕跡を残し、数々の伝説を生んだイベントとしていまだに語り継がれる。

2001

2002 瀬戸啓義 T-LIVE入社

2002 FIFA WORLD CUP KOREA JAPAN「コマーシャルディスプレイ:バドワイザーブース」の全6会場のうち、大阪・神戸の2会場を担当。当初、根本との関係で入社したにもかかわらず、入社後〇〇ヶ月は根本も不在のうえ社内にはほとんど人間がない状況の中毎日出勤をする日々が続いた。

2003



2011年T-LIVE社員旅行 in プーケット

2004 T-LIVEの事務所が長崎ビルに移転

The 38th Tokyo Motor Show でフォードブースを担当。当時の仲間や経験が現在の瀬戸を形成しているひとつの要素となる。AUTO CHINAでスバルブースを担当。サーズの流行する中国でのイベントとなったが、瀬戸にとって忘れることのできない衣装盗難事件に見舞われるという中国の洗礼を受けた記憶に残る現場となった。T-LIVEがOZONビルから長崎ビルに引っ越しをする際の瀬戸のたつての希望は「畳の部屋」を設置すること。徹夜作業で家に帰れなくなるとこの畳で夜を明かした。

2005

2006 T-LIVE BKK設立

愛・地球博の開催にともない平野は名古屋に常駐。またT-LIVE BKKの設立にともない小森はタイへ赴任。その為東京に残された根本・佐藤・瀬戸の3名は多忙な日々を追われることとなる。愛・地球博後に鈴木・日向・植木が入社し、かつての多忙な日々を思いだしては「なぜもっと早くに?」と思いふけることとなる。この頃から始まった瀬戸の担当イベントに「資生堂関連イベント」、「横須賀ベリイ祭」、「ガンブラ関連イベント」、「チーズフェスタ」、「ハワイ州関連イベント」などがある。

2006

2007 平野 代表取締役役に就任

平野が代表取締役役に就任し、T-LIVEの社長が2名体制となる。当時「次期社長は瀬戸か?」のうわさが流れるも、瀬戸は独立する道を模索することとなる。この頃社員も増えてフロア面積が手狭になってきたので、こだわりの「畳部屋」は撤去に追い込まれる。

2007

2008 根本 電通へ出向

この年瀬戸のかつての職場を通じて川村が入社し、入れ替わるように根本は電通に出向した。瀬戸はFIA FORMULA 1 WORLD CHAMPIONSHIP JAPANESE GRAND PRIX Fuji Speedway 2008のオープニングセレモニーや2016オリンピック招致Site Visitの東京ビッグサイトなどの国際イベントを担当。この頃から始まった瀬戸の担当イベントに「ヤマダ電機関連イベント」、「アディダス関連イベント」などもある。これまでは年に1度程度のゴルフもこの頃を境に頻繁になり出し、現在では暇があったらゴルフに行きたいというようになった。またゴルフ以外のスポーツでも深川の水かけ祭りでは根本の地元町内の神輿を担いだり、東京マラソンへの参加、フットサルへの参加、スキー・スノーボード旅行の開催など、社内外の仲間たちと精力的に交流を図った。

2009

2010 瀬戸啓義 自宅マンション購入

五十嵐、ギー(本名:シャントデス スジツラー)が新入社員として入社。この頃の瀬戸の担当イベントとして「ユニクロ上海のオープン」、「生物多様性EXPO」、「すかいらーく関連イベント」等があげられる。この頃になると「瀬戸はまだ結婚しないのか?」のプレッシャーが日に日に増す様子が見て取れたが、現状まだ結婚していないところを見ると、もう少し結婚には時間がかかるのではないかと予想される。新会社の様子をみて今後検討することとなるだろう。ただ、結婚よりも先に決めたのが自宅マンションの購入だった。既に独立の意志は固めつつも、3.11に起きた東日本大震災等の影響もあり、2011年度いっぱいまでT-LIVEの一員として活動することにした。ちなみに3.11当日は幕張メッセでイベント中であり、混乱の中関係者と来場者の安全に務めた現場となった。

2011

2012 瀬戸啓義 独立して新会社「フトコロ」を設立

東銀座に新オフィスを構え、かつての後輩と2人でイベント制作会社をスタート(予定)。今後の活躍はもちろんのこと、フトコロとT-LIVEとが連携をはかりお互いの飛躍のきっかけとなることでしょう!!!

2012

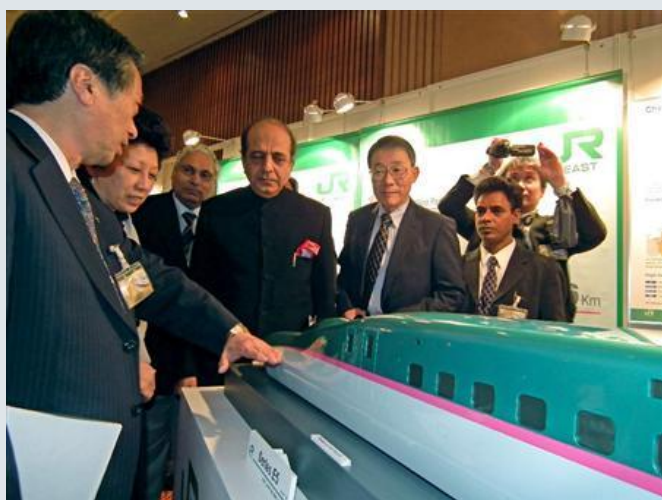


What's on today?

-Monthly News Letter-

- January-February 2012 No.28-29 -

●●●● L インド 日本の新幹線導入へ ●●●●



前田武志・国土交通相は12日、ニューデリーでインドのトリベディ鉄道相と会談し、インドへの日本の新幹線導入に向けた担当省の事務次官級による検討委員会を設置することで合意した。

(文:共同通信 2012/1/12)

新幹線をインドに輸出しようと、国土交通省や外務省などは13日、インドのニューデリーでセミナーを開き、同国政府関係者らに新幹線の安全性や整備効果をアピールした。セミナーには、JR東日本の清野智社長やJR東海の森村勉専務、川崎重工業の大橋忠晴会長ら民間企業も参加した。

(文、写真: Sankei Biz 2012/1/13)

インドは巨大鉄道国家である。1951年以来、国内全路線は国鉄としてインド鉄道省の管理下にある。約1,800万人の乗客、約200万トンの貨物が「1日」で輸送されている。総延長は63,327km、駅の数には6,909個に加え、約8,000両の機関車、約50,000両の客車、そして200,000両を上回る貨車を保有しているという。あまりにも数が多い。

しかしこの鉄道、遅れるのが当たり前。例えば昨年12月、私がデリーからプリーまでを利用した際には、濃霧による遅延・遅刻で1日分余計にかかった。人々は待合室での数時間を過ごすべく、わざわざ分厚い毛布や布団を持参しているくらいだ。インド人だって「時は金」である。富裕層は定時に離発着し、短時間で移動する飛行機を利用する。天候以外にも、人や動物が線路上に立ち入ることが遅れの原因ともいわれている。

デリーで仲良くなった旅行者に、偶然にもJRに勤務する男性がいた。彼曰く「新幹線の弱点は雨と風。霧で先が見えない、というのは関係ない」のだとか。さらに「新幹線の運転手には前を見続ける規則はない」のだとか。新幹線の線路は高架橋上にあるで、人が立ち入ることはまず無い。さらに監視センサーあり、異物が入り込めば感知するそうだ。「時速200km以上で走っているんだ、見えた時点でブレーキをかけてもオダブツだよ。そのスピードから完全停車するまでに4kmは進み続けてしまう」と、彼は苦笑いした。

デリー市内を走る「デリーメトロ」は日本の政府開発援助(ODA)の支援で2006年に開通した。車両は日本のメーカー製の他にも韓国・現代テロム社製のものがあるが、東京メトロの提案によって路線を色分けしているなど、日本の技術が多く生かされている。



さらに、延伸工事を指揮してきたのが日本人、しかも女性というから驚きだ。技師の阿部玲子さん(写真中央)は屈強なインドの男たちの前に、臆せず厳しく指導をしてきた。

彼女が現場に現れると「マダムが来た！」と笛が鳴り、作業員たちは仕事に集中する。彼女は「私を怖がることで安全意識が高まるのなら喜んで鬼になります」と言い切る。

(文引用、写真:News archives 2010/5/9)

先述のJRで勤務する男性によると、例えば新人研修は時間厳守だそう。定刻通りに集合しても「なぜ5分前に集合しないのか！」と、連帯責任で怒鳴られるのだとか。JRの教育は時に過剰にも見える。しかし些細な欠陥を見逃さない、妥協しない、徹底して正すからこそ、日本の鉄道網は今日も安全かつ正確に維持されているのだろう。



●メトロを見守るハヌマーン像(写真:AFP.com)

今回、日本は競合するドイツやフランスを退けたが、実際はまだ日本製の導入が決まったわけではない。別の旅行者は「日本を選べばデリーメトロ同様、今回もODAの支援が考えられる。安全で高性能な新幹線とそのシステムを、安く手に入れるのがインド政府の思惑だろう」と語る。また「過去の震災で、新幹線の地震への弱さも証明された。確かに衝突事故は一度も起きていないが、それだけが理由か？」とも。



最後に、左写真を見ていただきたい。インドでは稀に、こうした光景を見ることができる。

どうか日本製の新幹線がこんな乗り方をされぬよう、私は日本人として願うばかりだ。

(終)

TOKYO



T-LIVE Co.,Ltd
Phone +81-3-3537-0234 Fax +81-3-3537-0236



SP-RING Co.,Ltd
Phone +81-3-5543-2215 Fax +81-3-5543-2216

DELHI

DELHI Saptam Film Productions India
(Saptam International)
Phone +91-11-32532503 FAX: +91-11-28741116

BEIJING



SP-LIVE International BEIJING Co.,Ltd
Phone +86-10-6409-7531 Fax +86-10-6409-7503

SHANGHAI

SP-LIVE International SHANGHAI Co.,Ltd
Phone +86-21-6472-5140 Fax +86-21-6472-5170

GUANGZHOU

SP-LIVE International GUANGZHOU Co.,Ltd

BANGKOK



T-LIVE BANGKOK Co.,Ltd
Phone +66-(0)2-716-8501 Fax +66-(0)2-716-8502

HO CHI MINH



AAB INC.
Phone +84 838 181 391 FAX +84 838 181 392

SINGAPORE



CONCEPT 360° PET LTD
Phone +65-6887-5595 Fax +65-6887-5991